

官民協働危機管理防災クラウド(中核機関:防災科研)実施内容

1. 危機管理対応業務の人的組織的改善

防災科研: 小林市、藤沢市
群馬大: 三条市、(釜石市)
山梨大: 見附市
新潟大: 釜石市、(三条市、見附市)
消防研: 訓練・人材養成

標準的な危機管理対応業務の
情報システムへの反映

3. リアルタイム災害情報・予測情報の相互運用化

国交省河川局: 河川情報
気象庁: 気象情報
新潟県: 県災害情報
防災科研: 地震被害推定情報

相互運用化された災害情報は、情報システムを通じて判断・意思決定へ活用

2. 相互運用情報を利用する情報システムの開発

BBTower: 自治体クラウドの
制度的・技術的課題の整理

情報システムの
クラウド化の課題解消

東京大、ドコモ: スマートフォン・携帯電話向けシステム

情報システムの
現場用携帯端末
向けシステム開
発

防災科研:
コアシステムの拡張、災害対
応システムの基本設計

設計に基づく
情報システム開発

災害情報の他機関へ
の発信や共有の実現

NTT空間情報: 自治体やライ
フライン等後方支援機関の災
害情報の入力・共有システム

東京大、防災科研: 災害
情報クリアリングハウス

災害情報の所在
情報の一元化

ファルコン: 地図(WebGIS)およびタイムラインモジュール開発

実証実験と情報システムの改善

実証実験対象地域(三条市、見附市、釜石市、小林市、藤沢市)